

## 田中海舟 ソーシャルワーカー

大分大学

福祉健康科学部 福祉健康科学科卒

奨学金をいただいたことで、親への経済的な負担の軽減や自身の学業へ集中することができた。元々児童分野に興味を持ち、福祉の世界に進もうと思い大分大学に入学したが、児童心理治療施設でのアルバイトや、児童養護施設での実習を通して、福祉の世界への関心が薄れた時期もあった。しかし、大学三年生での病院実習を通して、医療ソーシャルワーカーという仕事に出会い、目指そうと思うことができた。医療ソーシャルワーカーとして働くためには社会福祉士という資格が必須であるため、国家試験合格に向けて試験勉強に集中して取り組むことができた。そして無事に医療ソーシャルワーカーとして、回復期の病院で患者さんの退院支援に関わっていくことができています。入職して5か月が経とうとしているがケースを持ち始めて無事1人の患者さんが退院し、医療ソーシャルワーカーとしてのやりがいも感じる事ができています。初回のケースの支援が評価され、4ケースほどをこれから同時に持つ予定となっている。児童分野に結果的には進むことはなかったが、専門職として医療現場において患者さんの為に働くことができおり、夢や目標は変わったとしても、問題ないと感じた。単位を落とすこともなく、国家試験にも無事に合格し、医療現場で専門職として働き、困っている方の支援を行うことで、社会の役に立つ人間になり、奨学金への恩返しができると思います。4年間経済的な支援をしていただきありがとうございました。

もしこれを読んでもくれる大学生や高校生がいるのであれば、大学時代に何もしないで家で過ごすことはもったいない。自分の趣味でも旅行や、スポーツ、勉強、就職活動など何か行動をしてみて、失敗したとしても挑戦したこと努力したことを、話すことができるような大学生活を送ってほしいと思います。